



2018年度2月 社会福祉法人尚徳福社会 生麦保育園

厳しい寒さが続きますが、うさぎ組の子どもたちは「まだお外出ないのー？」と寒さよりも外で遊びたい気持ちがとても強いです。最近「だるまさんがころんだ」をして遊ぶことが増えました。初めは「鬼になりたくない」「タッチされるのが嫌だ」という声がありました。そんな時「じゃあ、代わりに鬼になってあげるよ」「大丈夫だよ」などとお友だちの話を聞いてあげたり「じゃあこうしたらいいんじゃない？」とアイデアを出したりと、子どもたち同士で遊び進めていく姿が見られるようになりました。納得できない時は援助しながら、子どもたちのやりとりを大切に目見守っていきたいと思います。

また、インフルエンザが流行する時期でもありますので、手洗い・うがいをしっかりと行い、健康に過ごしていきたいと思います。



正月遊び

感染症の流行により、高砂会のお正月遊びは中止となってしまいましたが、後日室内では「ふくわらい」散歩先の貝ノ浜公園では「凧あげ」をしました。ふくわらいは、順番決めも子どもたちが「じゃんけんにしよう」「鬼決めで決めよう」と話し合っていました。目隠しをしたお友だちに顔のパーツを渡してあげ、どのパーツなのかも教えてあげていました。出来上がった顔を見て、みんなで大笑いをしていました。凧あげは、りす組さんと一緒に行きました。凧もあってよくあがり「みてみてー！」と嬉しそうでした。りす組さんに凧を貸してあげ、お兄さん、お姉さんの姿が見られました。

鬼のお面制作

節分に向けて鬼のお面を作りました。好きな色の画用紙を選んで鬼の輪郭になるように折り、クレヨンで顔を描いて、さまざまな表情の鬼たちができました。髪の毛は、はさみで1本切りした後、色鉛筆を使いってクルクルと巻き、のりで貼りました。早く豆まきしたいなど楽しみにしている反面、こわいなとドキドキ…。節分に向けて準備はばっちりです。

なかよし会

1月22日になかよし会がありました。前日も当日の朝も「早くしたいな」と楽しみにしていました。今年のテーマは「忍者屋敷」各コーナーには、手裏剣的あてコーナー、修行コーナーがありました。一休みコーナーには、三色団子、どら焼き、忍者特製ドリンクがあり、「ちょっと一息」ついてまた楽しんでいました。にこにこまんグループのペアに分かれて、前半後半で、お店屋さん・お客さんと交代で行いました。お兄さん、お姉さんと手を繋いで各コーナーを回り、ベイというお金も用意して、制作した財布から大事に出して、お店屋さんへ渡していました。「お兄ちゃん、お姉ちゃんが楽しかった」と異年齢での関わりがとても深まりました。来年度、きりん組さんになってどんな姿を見せてくれるか楽しみです。

お知らせ

2月23日(土)に懇談会があります。詳しくは、また後日連絡させていただきます。保護者の皆様と1年の子どもたちの様子や成長を振り返り、来年度のお話ができたらと思いますので、よろしくお願ひします。